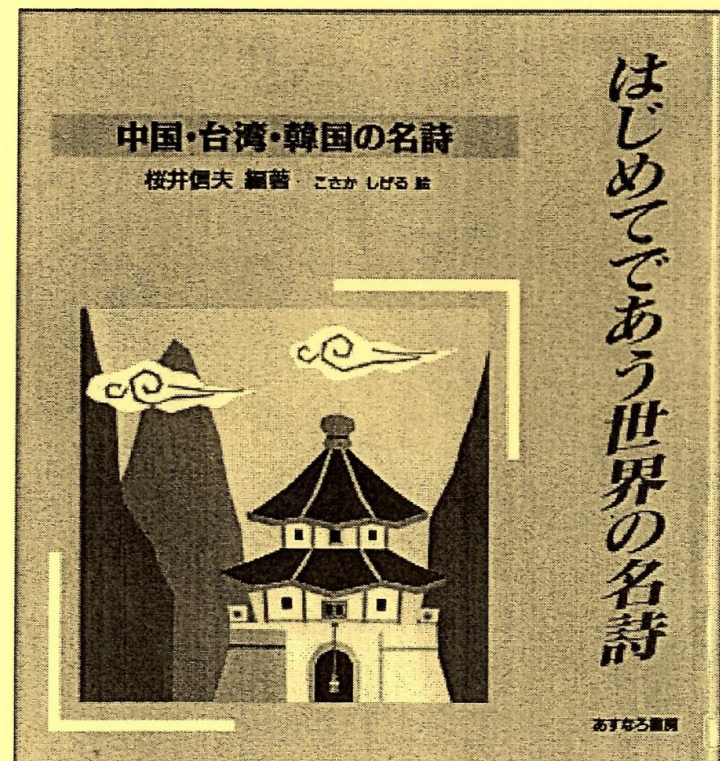


本とあそぼう Vol.150

こども人と

2013 年 10 月
宇 佐 市 民 図 書 館
〒879-0453
宇佐市大字上田 1017-1
TEL 0978-33-4600
FAX 0978-33-4679

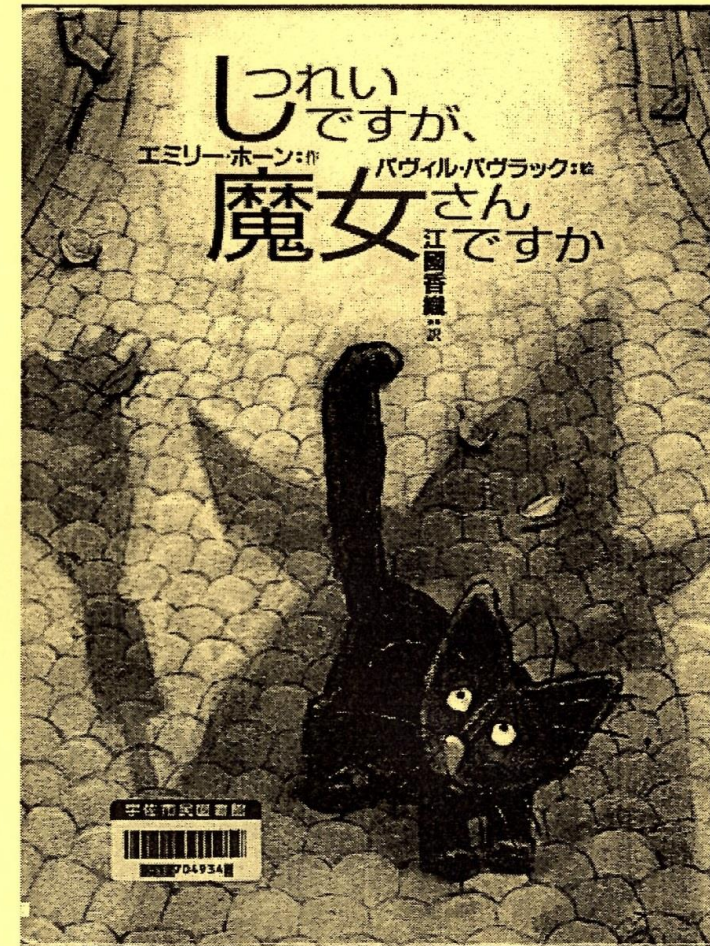


『はじめてであう世界の名詩9 中国・台湾・韓国の名詩』
桜井信夫 編著 こさか しげる 絵
あすなろ書房 刊

p 3 2 「ここにとっても短い童話が一つある」何 其芳 作
魔女によって人間そっくりになった人魚に、足りなかったもの。
人にとって一番大切なものを示した詩です。

どくだんとへんけんによっているかもしれない

今 月 の 一 冊



『しつれいですが、魔女さんですか?』
エミリー・ホーン 作 パヴィル・パヴラック 絵
江國香織 訳 小峰書店 刊

ひとりぼっちの黒ねこハーバートは図書館で「魔女が黒猫を愛する」ことを知りました。

それで、魔女をさがしましたが、なかなかみつかりません。

今月は【魔女 ハロウィン】の本を展示しています。

せいたん ねん 【生誕100年 に い み な ん き ち 新美南吉ときつね】

1913年に生まれた新美南吉。
 今月は、新美南吉の作品と、有名な「ごんぎつね」にちなんできつねの本を集めています。



『狐』 新美南吉 作 長野ヒデ子 画 偕成社 刊
 祭りの日。晩に下駄をおろすとキツネがつく、と言われた文六。いっしょに行った友達も「もしかしたら、文六にキツネがついているのかも」と、思っているみたい。不安になった文六は、お母さんに「ぼくがキツネになったら、どうする？」と聞いてみるのです。



『キツネ』 竹田津実 写真・文 アリス館 刊
 キツネのプロポーズ、子ぎつねの誕生と、お父さんもがんばる子育て、巣立ちまで。キツネについて知ってみませんか？
 竹田津先生は大分県国東市生まれです。

『うた時計』 新美南吉 作 長野ヒデ子 画 岩崎書店 刊
 道で会った男の人のポケットに入っていたオルゴール。何度も鳴らしてもらって話をしてみると、くすりやさんの息子だとわかります。

